



徳川
治績
年間
紀事

徳川三河守源家康

大徳芳
生

月岡米次郎画作
大倉孫兵衛出版

彫工 銀

徳川治績年間紀事 寄別7-5-1-1 00-001

国立国会図書館



本多平八郎忠勝

元龜三年十月武田信玄大軍拔
竊ひて遠江ふれ入り執ひ破竹の如
きりと誑進つるを聞つるも家康
手勢を引離して同國馬籠へ出
張り内藤信成大久保忠世兵衛
わくわく甲兵ふ追打され戦ひ頗る
難義き慶へ本多忠勝手勢城
引く救ひ未だ忠勝其日の出立に黒糸
織りの鎧を着し殿角の前盾打る
鎧を頂き蜻蛉切と名附たり片鱗
鎧打振て甲州勢の真中へ面もつて
突て入りつるも猛虎の群羊城が
如く難多味方を救ひせし後殿
あつて引揚る實り家康が分
限小過るものと忠勝と甲州勢の
評しなる一言阪は建れし豊太閤
の誓詞々又忠勝が身なりやうて
過た事ゆゑに忠勝をさかす

初代 安國院殿家康公



彫二銀

国立国会図書館



初代 安國院殿家康公



徳川治績年間紀事 寄別7-5-1-1 00-003

彫工銀

国立国会図書館

